

法人（事業所）理念  
支援方針

株式会社カピバラでは、3つの理念をもとに、「こころとからだに働きかける療育プログラム」を進めています。

- 理念
- ①多彩なSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）でお子様の「得意」を伸ばす。
  - ②個々のニーズに即したプログラムにより、安心できる「放課後」作りを目指す。
  - ③「褒めて育てる」を職員間に「合言葉」に、お子様が認め合える社会を経験させる。



上記の理念を具現化するために、【個別療育】【集団療育】【運動療育】を展開します。そして、以下の「ねらい」を元にお子様に対して療育を施していきます。

- 言葉だけでなく、多彩なコミュニケーションツール（サイン、ボディランゲージ、手話、口話など）を活用してコミュニケーション能力の向上を目指す。
- 場面や状況に応じたSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）を通して、社会性を育むトレーニングを実施する。
- 制作・アートデザイン活動を通して、自己肯定感や成就感を醸成することを目指す。
- 身体を動かすトレーニングを実施する。

営業時間

9時00分 から 18時00分まで

送迎実施の有無

あり

## 健康状態

## 【健康・生活】

- ・健康状態の維持・改善（登所時の検温、視診 常時の観察）
- ・基本的な生活スキルの獲得（RGを通してADLや身辺整理などの指導）
- ・生活のリズムや生活習慣の形成（定時排泄誘導 おやつ等の摂食援助）

## 心身機能・構造

## 【運動・感覚】

- ・姿勢と運動・動作の向上（感覚統合あそび等）
- ・姿勢と運動・動作の補助手段の活用（身体にあった机・椅子、座位保持、バギー等整備）

## 【認知・行動】

- ・認知の発達と行動の習得（個に応じた課題の作成・実施）
- ・空間・時間・数などの概念形成の獲得（数、時計等）
- ・外部環境の適切な認知と行動の獲得（スケジュールの視覚化、環境の構造化、タイマー等）

## 個人因子

## 【体験・経験（行事等）】

- ・お出かけ（公園遊び、果物狩り等）
- ・体験活動の実施（近隣のカフェ等でのスイーツ作り、電車・バス乗車体験、テイクアウト体験、近隣の児童館との交流、保護者と一緒にランチクッキング、送迎者の清掃等）

## 活 動

## 【言語・コミュニケーション】

- ・言語の形成と活用（歌唱や読み聞かせ等を通して言葉に触れる）
- ・言語の受容・表出（言語構成、表出方法のトレーニング）
- ・コミュニケーションに基礎的能力の向上（基礎となる注目、追視、動作模倣等を促す 一対一のやりとり）
- ・コミュニケーション手段の選択と活用（指さしサインやジェスチャー等の活用）

## 環境因子

## 【家族支援】

- ・発達状況や特性の理解に向けた相談援助
- ・子育ての困りごとへの相談援助

## 参 加

## 【人間関係・社会性】

- ・他者との関わりの形成（集団遊びやSSTを通して、他社理解を深める）
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間づくりと集団への参加（小集団の活動を通して、ルールの理解や適切な振る舞いを学ぶ）

## 【移行支援】

- ・進路先や移行先への相談援助や情報提供
- ・併用利用先や諸学校との情報共有

## 【職員の質の向上】

- ・障がい特性理解の研修
- ・事例に基づいた支援の在り方の話し合い
- ・資格取得の推奨

## 【地域支援・地域連携】

- ・併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有、相談援助
- ・医療機関との情報連携や調整